

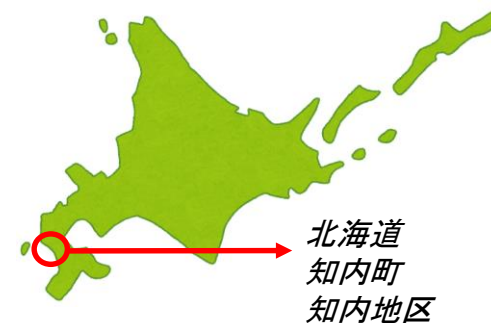
## 取組の概要

取組の概要 : 次代を担う産地強化への体制整備  
 計画作成主体 : 知内町農業再生協議会  
 対象品目 : ニラ (産地面積 : 30.5ha)  
 主な取組主体 : 新函館農業協同組合、  
 知内町ニラ生産組合  
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加(総販売額)  
 助成金の活用 : 整備事業 (集出荷貯蔵施設)  
 状況 : 生産支援事業 (ハウス資材)  
 (機械リース 袴剥き機 15台、自  
 動換気装置 一式等)

## ポイント

ニラ共同調整包装施設の整備や管理作業省力化栽培体系の導入により、労働効率が向上し、作付面積の拡大、品質向上が図られ、販売額10%以上の増加を実現。

## 地区の概要



## 産地の現状と目標

〈現状:H26年度〉

作付面積 : 28.1ha (出荷数量 : 1,536t)  
 労働時間 (生産段階) : 769h/10a  
 秀品率 : 94.2%  
 農家人口の減少と高齢化による労働力減少が生産拡大と産地維持の最大の阻害要因

〈目標:H31年度〉

作付面積 : 30.5ha (出荷数量 : 1,891t)  
 労働時間 (生産段階) : 382h/10a  
 秀品率 : 97.9%  
 生産者段階での出荷調整作業や温度管理作業の省力化・効率化を図り、生産拡大と品質向上等により販売額を増加



## 推進体制

地域の関係者 (知内町、新函館農業協同組合、農業関係者等) が一体となり、事業を推進。

## 地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 通年出荷を目指した栽培管理、新品種の検討等を実施。

〈道・市町村単独事業〉

- 「渡島スマートアグリ推進事業」と連携して施設園芸の次世代営農スタイルを構築。
- 知内町「低炭素地域づくり事業」と連携して、木質バイオマスの熱利用等を検討。

## 事業効果

「主要4品目中1位」

- ニラ共同調整包装施設の高度化や管理作業省力化栽培体系の導入により労働時間が削減され、作付面積の拡大や品質が向上。
- 販売額の増加により、生産者の所得向上につながり、ニラの産地強化を実現。

～ニラの販売額 (総販売額)～

